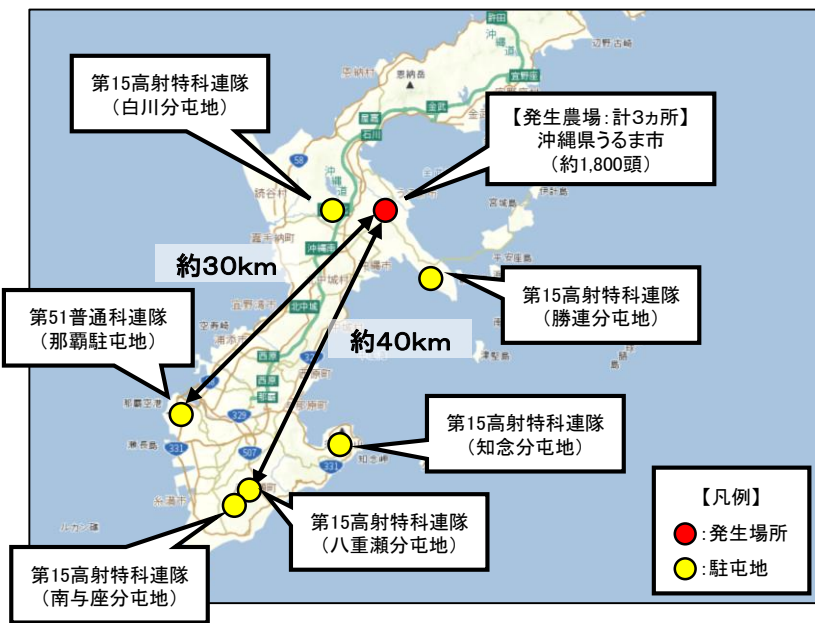


概 要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月7日（火） 沖縄県うるま市に所在する養豚農場3カ所（計約1,800頭）においてCSF（豚コレラ）の疑い発生。 ○ 1月8日（水）0800 検査の結果、陽性判定。 （沖縄県におけるCSFの発生は33年ぶりであり、<u>同県におけるCSFに係る災害派遣は初めて</u>） ○ 1月8日（水）0940 沖縄県知事から陸上自衛隊第15旅団長（那覇駐屯地）に対し、殺処分等の支援に係る災害派遣要請。 ○ 1月8日（水）1202 現地において豚の殺処分等の支援を開始。
活動部隊	○ 陸自第15高射特科連隊（八重瀬、勝連、白川、知念、南与座 各分屯地）、第51普通科連隊（那覇駐屯地）
活動態勢	○ 9コ小隊でローテーションし、6時間交代の24時間態勢で活動。（1コ小隊約35名、全体で約360名態勢（本部要員等を含む））
処分数	○ 全体（自治体と共同で作業）：約1,650頭 / 約2,000頭（10日0900時点）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豚舎内における豚の追い込み作業など。 ○ 殺処分した豚の運搬支援。

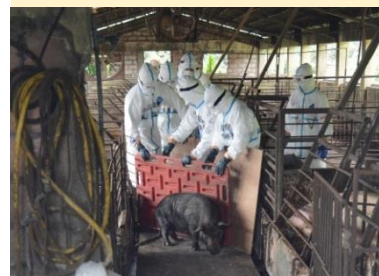


【参考1】CSFに係る災害派遣における活動地域（平成30年12月～）

- 岐阜県（関市、各務原市、恵那市、瑞浪市、山県市）
- 愛知県（豊田市、田原市、瀬戸市、西尾市）
- 三重県（いなべ市）
- 長野県（宮田村）

【参考2】沖縄県うるま市におけるCSFに係る災害派遣の様子

豚の追い込み作業



豚の運搬支援

